

「生活道路対策エリア」の取組事例(都城市川東小周辺地区の事例)

グリーンベルト・
外側線・交差点マーク

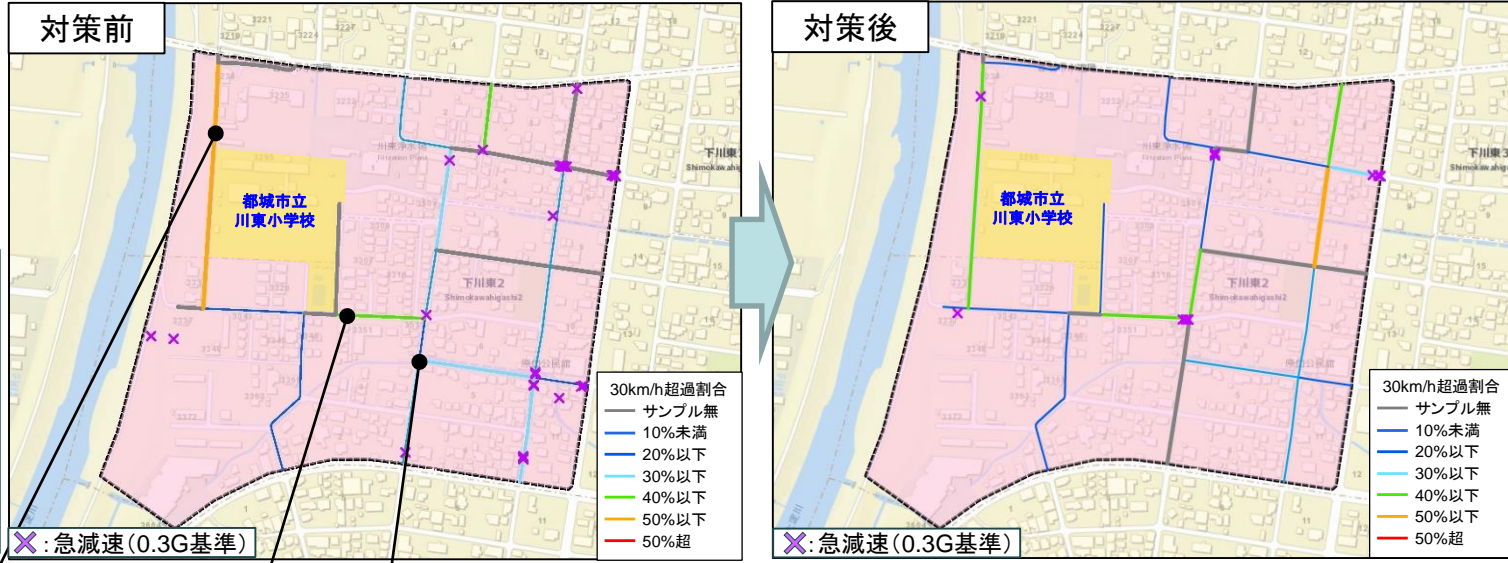
- 地区内では通過交通が多く、通学路に指定されている箇所において車両と歩行者の接触等の事故リスクが高いため、交通安全対策を実施(グリーンベルト、外側線、交差点マーク)
- ワークショップ・合同現地地点検を合計3回開催(現地点検:H29.4開催)し、住民と協働で対策を検討
- 対策エリアにおいて、30km/h超過割合が約11ポイント減少する等、大幅な速度抑制効果が発現

取組概要



- 取り組みの経緯
ワークショップを開催し、住民と協働で対策を検討
- H28.7 : 交通安全に関する知識の共有
問題点と対策案の共有
 - H28.9 : 対策工事の実施及び完了
 - H29.4 : 現地点検にて対策状況の共有
 - H29.10 : 効果検証、改善の取組

ビッグデータ分析結果



整備状況



外側線を設置



グリーンベルトを設置



交差点マークを設置

整備効果

	30km/h超過割合	平均速度	急減速発生状況	
	エリア全体	エリア全体	回数	発生割合トリップ
対策前	38.4%	24.6km/h	33回	7.7%
対策後	27.0%	20.4km/h	14回	3.2%

(▲11.4%) (▲11.3km/h) (▲19回) (▲4.5%)

【出典】1. 履歴点データ: ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合) 【対策前】H27.9.1~H28.8.31、【対策後】H29.9.1~H30.8.31 (急減速) 【対策前】H27.9.1~H28.8.31、【対策後】H29.9.1~H30.8.2
2. 背景地図: Sources: Esri Japan, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community